

氏名	本田 千恵
学位の種類	博士 (医学)
学位記番号	乙第276号
学位授与年月日	平成21年12月2日
審査委員	主査 教授 田邊 一明 副査 教授 富岡 治明 副査 教授 藤田 委由

論文審査の結果の要旨

上部消化管疾患の最も重要な病因の一つである *Helicobacter pylori* 感染は、様々な消化器外疾患の発症に関与することが報告されている。その中で *H. pylori* と動脈硬化の関連については一定の見解が得られていなかった。申請者は、*H. pylori* 感染の動脈硬化の進展に及ぼす影響を明らかにするために、健診受診者 258 例（血中抗 *H. pylori* 抗体陽性者 166 例、陰性例 92 例）を対象として、血清脂質および血圧、ankle brachial index (ABI)、pulse-wave velocity (PWV) の動脈硬化指標の 4 年間の変動について検討した。性、年齢、BMI、喫煙歴、飲酒歴で補正後の high-density lipoprotein cholesterol 値は *H. pylori* 陽性者では陰性者に比して検討開始時有意に低値であった。*H. pylori* 感染陽性者、陰性者ともに血圧、左右の ABI、心臓から頸動脈までの PWV、左右の心臓から足首までの PWV のいずれの動脈硬化指標においても 4 年間で増加していたが、*H. pylori* 感染陽性者と陰性者の間には、年齢、性などで補正後の動脈硬化指標に検討開始時および 4 年後ともに有意な差は見られなかった。また、動脈硬化指標の 4 年間の変化率においても *H. pylori* 感染陽性者と陰性者間で有意な差を認めなかった。以上の結果より、日本人においては *H. pylori* 感染は加齢に伴う動脈硬化の進展に有意な影響を及ぼしていないことが明らかになった。本研究の成果は、心血管疾患や脳血管疾患の発症に大きな関わりをもつ動脈硬化の進展に関して臨床的に重要な知見を提供するものであり、高い学術的価値を有する。